

商業、サービス機能など、にぎわいと交流の拠点

土山駅南町有地の

活用に取り組みます

ＪＲ土山駅南町有地については、本町の玄関口としてふさわしい景観を持ち、利便性が高くにぎわいと交流のある空間形成をめざしています。そのため、平成24年度にまとめた土山駅南町有地活用方針に基づいて、平成26年から土地貸付による民間事業者の募集、選定そして契約に向けて取り組みます。

▼問合せ 企画グループ ☎0779(435)0356

播磨町では、これまでＪＲ土山駅南の町有地について、地域の特性をいかした、まちの玄関口としてふさわしい整備方策について検討を進めてきました。

平成23年には、はりま病院が開院しましたが、残された町有地の活用に向け、学識経験者、団体・企業関係者の代表、住民の代表、町職員で構成される「ＪＲ土山駅南町有地活用方針検討委員会」を開催し、検討を重ね、活用方針などをまとめた計画書を作成しました。

本計画では、「播磨町らしい駅前景観づくり」「駅前のターミナル機能を向上させるまちづくり」「公共機能の導入」「商業・サービス機能の

導入」「播磨町全体と機能分担をふまえた導入機能の設定」の5つを活用の基本方針として、本町の玄関口としてふさわしい景観を持ち、利便性が高くにぎわいと交流のある空間形成を目指します。

播磨町らしい駅前景観

ゆとりある空間や歴史を感じられる、景観に配慮した駅前のまちづくりを行います。

駅前ターミナル機能の向上

駅前広場と連携したターミナル機能として、情報提供などの機能を導入します。

公共機能の導入

財政負担の少ない公共施設の整備や運営に配慮しながら、公共機能を導入します。

商業・サービス機能の導入

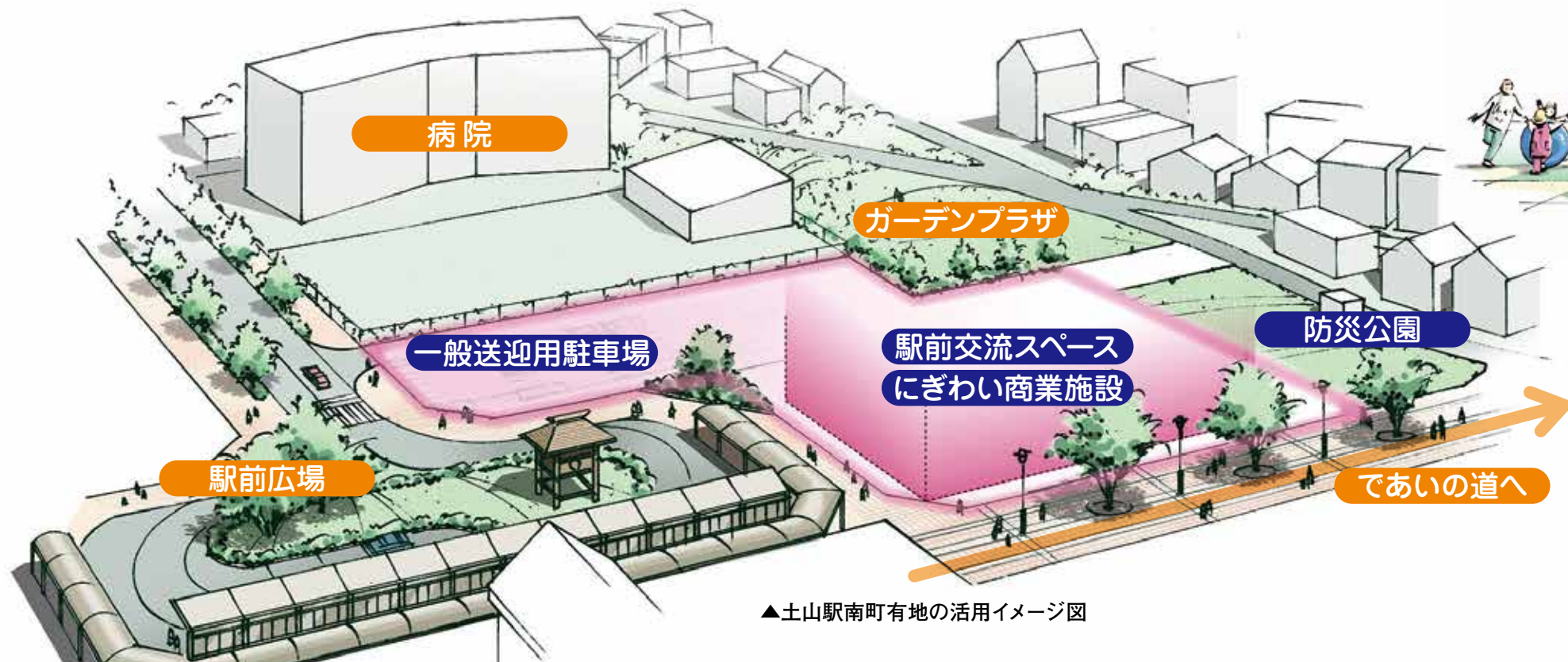
ＪＲ土山駅周辺における日常生活の利便性を向上させる機能を導入します。

土壌対策工事の実施

再度、実施しました土地の調査結果により、新年から土壌対策工事を行います。特定有害物質が検出された区域の土壌については、土壌汚染対策法に則り、掘削除去することを計画しています。

工事で掘削された土壌については、町外の処分施設へ搬出することとしています。

また、敷地内には線路北側からの雨水管が埋設されていることから、今後の土地利用も考慮し、今回の工事にあわせて敷地周辺へ移設するための工事も行います。



▲土山駅南町有地の活用イメージ図

播磨町全体との機能分担

住宅機能は播磨町全体で担い、当計画地では商業機能など、住宅以外の拠点機能を担います。

民間事業者の募集と選定

新年より、活用基本方針に基づいて、土地貸付による民間事業者の募集、選定そして契約に向けて取り組みます。

そのため、町有地活用事業者選定委員会を置き、事業者の募集要項や選定基準を定めたうえで、2月から事業者の公募を行い、夏ごろには選定を終える予定です。

駅前交流スペース

案内やＰＲなどの情報提供、待ち合い、子育て支援などの機能を持つ公共施設を整備します。テナントとして入居し、駅舎から入りやすい場所とします。

にぎわい商業施設

日常生活の利便性を向上させる店舗を導入し、にぎわいを創出する店舗の導入に努めます。

建物は低層とし、駅前景観へのデザインへの配慮、敷地内の緑化にも努めます。また、駅への一般送迎用駐車場も確保する予定です。

防災公園及び歩道整備

災害時に駅利用者や周辺住民の皆さまに安心していただけるよう、防火水槽や防災倉庫などのある防災公園を整備します。

あわせて、途中まで整備されている歩道を、さらに延伸します。

